



新資本主義

令和6年1月26日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

世界金融資本における支配など、現実への対応は、倫理的経済と資本システムの構築における新資本主義の実現を提案できる。他方において存在するのは欲望の資本主義なのである。

これら公正な経済のルールの作成は、資本という原理が、その所有の容認を有し。倫理的公正さを現実に行うことができるのである。

これらは新たなマネーシステムが独占を有することなく、公正な経済のルールへの合意における新資本主義の提案を実現するものである。

これらは他方において自由貿易システムが、資本と現実の独占を有することへ、新たな経済のルールを提案できるのである。

これらは資本の独占から、公正な資本の分配へ、公正な経済ルールにおける経済活動の構築、これら機会の独占から、全ての存在の参加の権利など、新しい現実のルールの構築を提案できるのである。

これらは新たなデジタル経済への転換における新しいルールとして提案するものであり。公正なルールは公正で健全な経済活動の正しい基盤なのである。

これら新たな資本主義が、経世済民という理想を得ることは新たに提案できるのである。

自由経済システムと自由貿易システムは、これら経済の循環をグローバルゼーションとともに構築するものである。

これらは競争における資本の独占へ、新資本主義というルールの提案を実現できるものである。

経済と競争原理が進歩を生むことは真実である。しかし新しいルールは、自由な経済活動の容認という現実において経済が手段であり、目的でないという新しい理解を基盤とした、思想哲学的基盤を経済に提案することは可能なのである。